

大間原子力発電所 審査会合における指摘事項について(地震・津波関係)【抜粋】

旧
No.

No.	分野	項目	指摘場所	指摘日	コメント内容	回答日
S1-81	敷地周辺地質	下北半島西部の隆起	第871回会合	2020年7月3日	隆起再現断層の地表出現領域の可能性がある領域の評価について、「相対的に隆起が速い領域」を大間崎付近とし、赤川付近の隆起域を含めない理由を丁寧に説明して欲しい。ついでに、隆起再現断層の「地表出現領域の可能性がある領域」の南東端の根拠について、以下の内容を含め整理したうえで、再度説明すること。 ・下北半島西部の北東側海岸のM1段丘面の速度分布に、二枚橋地点より東側のむつ地点や尻屋崎地点のデータを加えた隆起傾向を再度提示すること。 ・「相対的に隆起が速い領域」と、赤川付近から東の隆起域が分かれるというのであれば、その考え方を示すこと。 ・F-14断層の東方に隣接する背斜と向斜のペアとその南東のペアについて、図示出来ない小規模のものも含めて全て提示のうえ、地表出現領域の可能性がある領域の設定に考慮した背斜・向斜の考え方を示すこと。 ・重力異常との整合性の検討において、地表出現領域の可能性がある領域の南東端付近等で地形・地質構造と整合する領域を補正しているが、大局的な地質構造を示す重力異常のデータを用いて補正した考え方を示すこと。 ・海岸侵食地形の調査データを全て示し、赤川付近の隆起との関係を説明すること。	今後ご説明予定
S1-82	敷地周辺地質	下北半島西部の隆起	第871回会合	2020年7月3日	敷地周辺の地質・地質構造の審議においては、「隆起再現断層の可能性がある領域」までとし、資料構成を変更すること。	今後ご説明予定
S1-83	敷地周辺地質	下北半島西部の隆起	第871回会合	2020年7月3日	「更新世の地形発達過程の検討」については、地震動の審議に移った以降で、敷地周辺の地質・地質構造の審議に戻って、隆起の再現性を説明すること。	今後ご説明予定

コメントNo.の凡例 (1列目)H: ヒアリングでのコメント, S: 審査会合及び現地調査でのコメント

(2列目)1: 敷地周辺地質, 2: 敷地地質, 3: 地下構造, 4: 地震, 5: 津波, 6: 火山, 7: 地盤・斜面

注1) 項目のうち「第四系中の変状」(第700回審査会合までの記載)については「後期更新世に生じた変状」に改称。